

## 大東町海潮地区 地域通貨について

Q399

地域通貨について、現在の流通状況またどういったものをしているか伺いたい。それと1つ提案ですが現在発行の段階で、例えばスポーツ少年団等がやるまえの30分間草むしりをする、その人達に全部配っていくという様な形と利用の場所、そういったものをもっと広げて行かないと地域通過の意味が無いと思いますので、よくその辺を検討して欲しいと思います。

A：地域通貨について質問を頂きました。たしか平成17年12月或いは1月にかけて2ヶ月間、地域通貨という事で住民基本台帳カードを使って活用を頂きました。内容については、それぞれ住基カードを取得して頂いた方にそれぞれポイントを出しまして公共施設・温泉等で活用頂きました。市外の皆さんには携帯電話等でもご活用頂くというシステムにしていました。

試験的に行っていましたが、色々状況等検証しましたが、最終的に地域通貨というものは運用中止しています。これについては、400人を切るくらい参加して頂いていましたが、地域通貨がまわっていく仕組みや方法というものが構築できなかったという事で、現在休止し、住基カードを作って参加して頂いた方については、その中止の事で通知を差し上げたところです。

それからもう1点。この取組みの中で、避難者情報システムというものを立ち上げています。これについては、避難所へ端末をおいてそこへ住基カードを差し込んで頂くと、そこへ居られる、所在箇所が確認出来たり、安否情報がそこでチェックできるシステムがありますが、これについても具体的に稼働した事例はありませんし、現在この避難者情報システムは稼働出来るよう対応しているという状況です。